

# 気をつけたい目のトラブル 「ものもらい」について

ものもらい(麦粒腫)は、まつげの付け根などに細菌が入って、まぶたが赤くはれたり、強く痛んだりする病気です。炎症が強い場合は、まぶたが上がらなくなることありますが、たいていの場合、2～3日たつと膿が出て自然に治ります。

ものもらいは、ウイルスではなく雑菌が原因なので周りの人が感染することもなく、本人にとってもそれほど大変な病気ではありません。しかし、適切に対処しないと症状が長引くこともありますので、基本的な知識を身につけてしっかり治しましょう。



## ものもらいになったら…

目の周囲を清潔に保ち、患部を触らないようにしましょう。手や指も清潔にします。しばらく様子を見て症状が改善されない場合は、眼科で診てもらいましょう。霰粒腫という違うタイプのものもらいの可能性もあります。

また、目にトラブルがあり疲れているときは、脳や体も疲れています。抵抗力を保つために十分に睡眠をとり、野菜や果物を積極的に食べましょう。

## 「ものもらい」の呼び名はたくさん!

「ものもらい」は、地方や方言によってさまざまな呼び名があります。



たとえば、「めいぼ」、「めばちこ」、「めばち」、「めっばち」、「めこじき」、「めぼう」、「めぼ」、「めっぼ」、「のめ」、「のんめ」などです。そのほか、「おきゃくさん(佐賀県)」、「おひめさま(熊本県)」、「みいでえ(沖縄県)」などというものがあります。一度、おうちの人や親せきの人に聞いてみるとおもしろいよ。



# まちがいがし

7つのまちがいをさがそう!



チャレンジ

テレビを見るときは部屋を明るくし、はなれて見よう



テレビを見るときは部屋を明るくし、はなれて見よう

